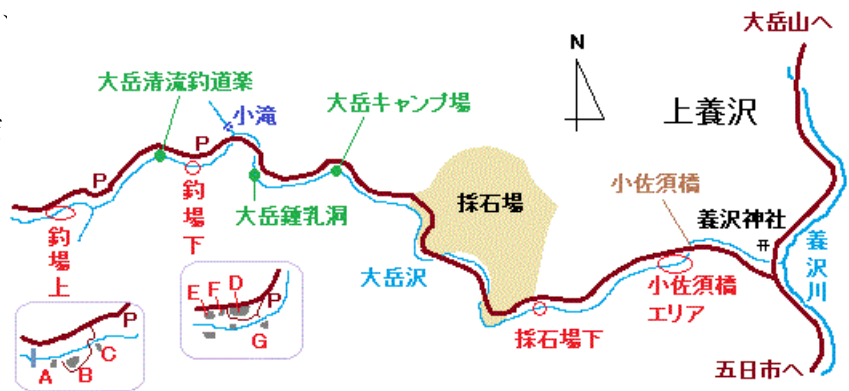


秋川養沢 大岳沢上流ボルダー

2017.12.16 rctK

大岳沢のボルダーについては、下から小佐須橋エリア、採石場下、釣場下などを以前トライしたことがある。以前、採石場下のボルダーを紹介したが、今回紹介するのは、大岳鍾乳洞より上流に点在する、石灰岩とチャートの岩が混在しているボルダーエリアである。



実は実家から帰京後、このエリアでちょっと登った際、ちょっと体を捻って尻をついた時にギックリ腰になってしまい、暫く登れなかった。少し症状も癒えてきたので、未トライの簡単なラインだけでもと思い、先日トライしに行ってきた。一応ここで一区切りついたので、釣場下エリアと、今回新たにトライした釣場下エリアを併せて紹介したい。

これらのボルダーは、谷底にあり日陰のため、多分また何年か後には自然の状態に戻ってしまうと思われる。なお小佐須橋エリアについては、苔だらけになってしまい、下地も川になったり、荒れてしまったりで復活には程遠いのでそのままの状態である。

アクセスは十里木から養沢方面に入り、養沢神社手前より大岳沢林道に入る。採石場、大岳鍾乳洞を過ぎると、兩岸が狭まったゴルジュ状となり、高さ30m程の「小滝」が左岸より落ちている。林道は左岸に渡り、その先にちょっとした駐車スペースがあり、釣場下エリアはここに車を置かせてもらう。アプローチは踏み跡を河原に出るか、林道横のハイボルダーの脇を降りる。

さらに奥に進むと、「大岳清流釣道楽」という釣場兼キャンプ場があり、その先の建築資材や石ころが置かれているところに、ちょっとした駐車スペースがあるので、釣場下エリアはここに車を置かせてもらう。ボルダーへは林道を少し先に行くと対岸にボルダーが見えるので、杉の木のある辺りから河原に降りて沢を渡れば直ぐである。駐車は釣場のスペースにはしないように。林道終点には登山者用の駐車スペースがあるので、そこも利用可能である。

なおシーズンとしては、禁漁期間で釣師が入らない、晩秋からが岩の状態も良くベストと思われるが、釣場下はキャンプ場が直ぐ上なので、客がいない平日に利用するとともに、派手なパフォーマンスは避けた方が良い。

《釣場上》

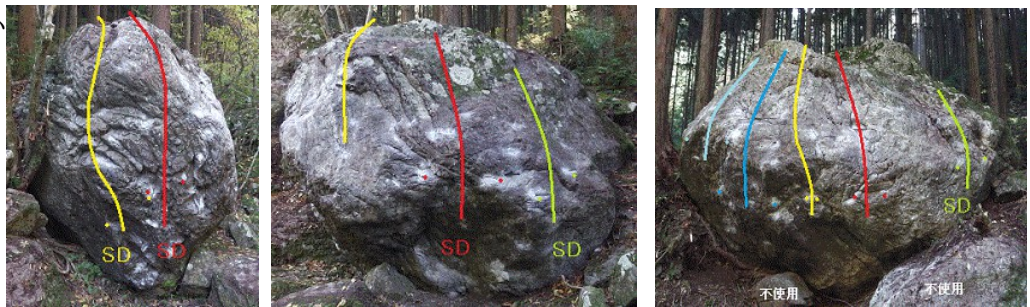
●A岩&B岩

A岩は2m程の小さなチャートの岩。

下流側は、前傾気味で、そこそこの難しさもあり楽しい。赤ラインはスタートの左手以外は黄色ラインとのホールド共用はなし。

川側の赤ラインは、リップ上のホールドを両手で引きつけて上のカチホールドをとる一手がちょっときつい。

左:A岩下流側 中央:A岩川側 右:B岩



B岩は4m程のチャートのハイボルダーだが、上部は傾斜が落ちてしまう。

課題については、川側には5本あり、中央の黄色(課題名:山猫)と赤ライン(課題名:野良猫)がハングからスラブに移る辺りのムーヴが面白い。下の石ころと右下の岩は使用しない。リップ上付近のホールドを事前に確かめておいた方が良い。

青ラインはジャンプしてリップ上のホールドを右手で取る。

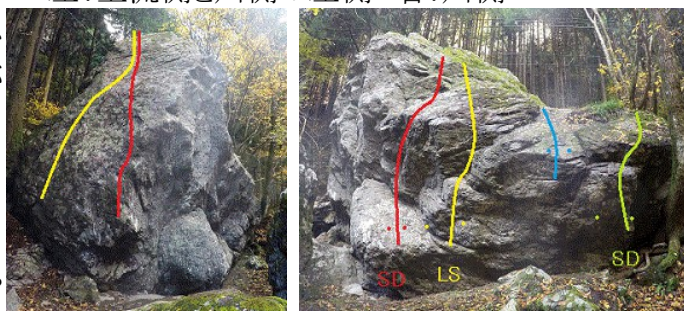
裏の山側のフェイスにも易しいSD課題が3本ほどある。

●C岩 (面白い課題があったが、台風の土石流により完全に流されてしまった)

《釣場下》

●D岩

左:上流側と川側の左側 右:川側



林道の直ぐ横にある5~6mのチャートのハイボルダー。以前から存在は分かっていたが釣場&キャンプ場の直ぐ下流にあったため、トライを控えていた。最近行ってみると、平日だったためか釣場に客はおらず静かであったため、ちょっと今回トライさせてもらった。林道の脇で目立つ岩であり、上にほとんど泥や灌木などはなく、ホールドはしっかりしており、苔を簡単に落とす程度だったので、以前トライした者がいるのかもしれない。

上流側は5m程のスラブ状フェイスで、細かなホールドを拾っていく。右のカンテ部分は下地が段差状になっているので、落ちた時には注意。

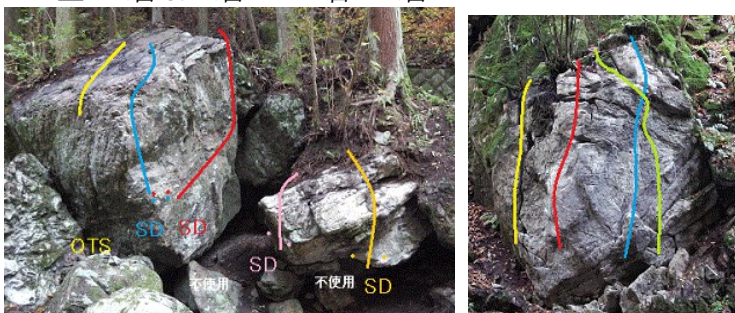
黄色ラインはカンテよりのフェイスを右上していくがカンテに出ない。赤ライン(課題名:ルナ)は右のカンテ下から入り、丸くへこんだホールドから左のスラブに出ていくが、ホールドが細かく遠い。最後まで緊張感がありお奨め。

川側の左側は高さがあり、スポッターもいなかったためトライは控えた。トライする場合は、クラッシュパッドを敷くと同時に、後ろの岩が危険なのでパッドを垂らすなどの配慮をすると同時に、スポッターが必要である。

川側の右側は高さは無いが、出だしが逆層気味で少し前傾している。上部はスラブで傾斜が落ちてしまうので、実質2~3m程の課題である。特に面白いという程のラインはない。

●E岩&F岩 &G岩

左:E岩&F岩 右:G岩



E岩とF岩はD岩の直ぐ上流側にある小さな2つのボルダー。

E岩はチャートの岩で3本の課題がある。高さは無いが、下地が不安定なので、必ずパッドは敷いた方が良い。

F岩は小さな石灰岩のハングした岩。2本ほどSD課題があり、ハングしているが易しい。ハング下の挟まった岩から下は使用しない。

G岩は駐車スペースから踏み跡を河原に出たところの対岸(右岸)にある5m程の石灰岩のフェイス。きれいで高さもそこそこあるが、ホールドの繋がりが左または右寄り、想定ラインから外れてしまい、課題としては見た目も内容もいまいち。限定すればもっと中央寄りに難しいラインが設定できるかもしれない。赤ラインは課題名「シルバー仮面」でスタートは縦ホールド。青ラインは課題名「七色仮面」でガバから直上する。